

ハイパスフィルタ (スペクトラムアナライザ保護用)

TFL-007・009

ハイパスフィルタは、スペクトラムアナライザを用いて電源供給線に漏洩する妨害電圧を測定する時に擬似電源回路網の接、断時に発生する過渡電圧や線路切換スイッチによる過渡電圧を減衰させ、スペクトラムアナライザの入力段 MIX や RF AMP を保護するためのハイパスフィルタです。妨害電圧を測定する際、擬似電源回路網の [RF OUTPUT] 側に挿入します。

なお、入力レベルが 0.5V 以上の時は、スプリッタ用ダイオード付きをおすすめします。

仕様

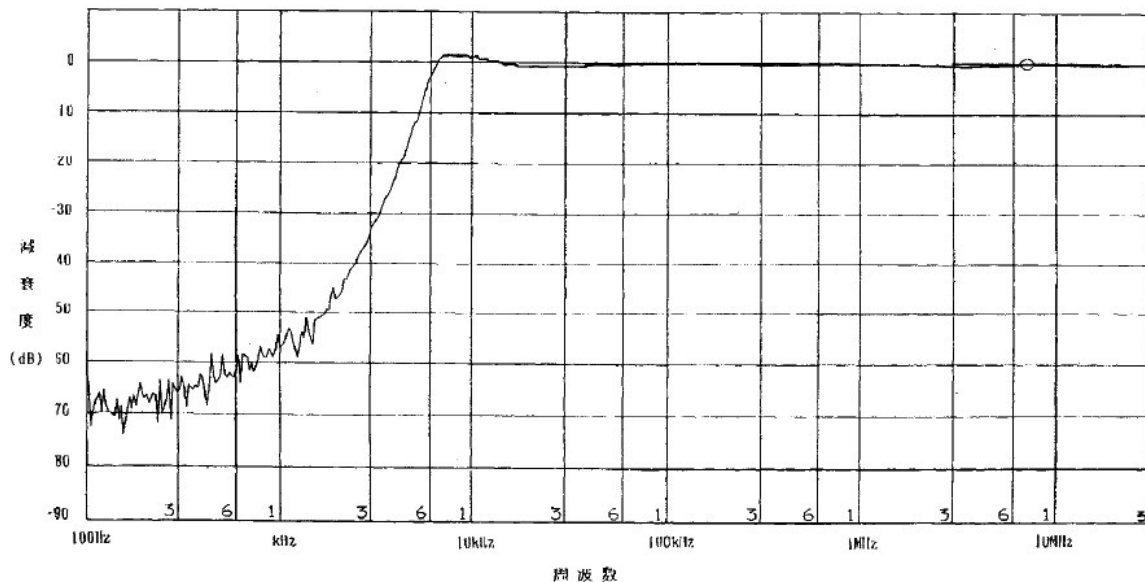
項目	型名	TFL-007・007D ※ 2	TFL-009・009D ※ 3
広域濾波器		通過周波数帯域 9kHz ~ 30MHz	通過周波数帯域 150kHz ~ 30MHz
カットオフ周波数 ※ 1		7 kHz	150kHz
インピーダンス		50 Ω 公称	
入力コネクタ		入力側 BNC-P 出力側 BNC-R	
寸法・重量		70(W)×25(H)×25(D)mm、約 150g	

※ 1 : カット周波数は希望の値にする事が出来ます。

※ 2 : TFL-007D は高周波スプリッタ用ダイオード付きです。

※ 3 : TFL-009D は高周波スプリッタ用ダイオード付きです。

減衰特性



外観

